

事務事業 No./名称	■サービス部門 ことども-13 分園運営事業 □支援部門						
主管課	保育課	関連課	ことどもみらい課・ことども相談課				
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	地域の子育て支援を行う。 待機児童0人						
人口等のデータ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備考		
	人口	177,204人	177,161人	176,669人	・各年4月1日(住民基本台帳) ・対象者数=各年4月1日現在 植木分園入所児童数		
	世帯数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯			
事業の対象者数	43人	42人	40人				
運営資源状況	決算値(千円)	12,809	16,108	16,108			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	12,809	16,108	16,108			
	人員配置数	0.5人	0.5人	0.5人			
	人件費(千円)	4,357	4,345	4,484			
	協働のパートナー						
事務事業運営経費	総事業費(千円)	17,166	20,453	20,592			
	市民1人当りの経費(円)	97	115	117			
	対象者1人当りの経費(円)	399,209	486,976	514,800			
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
入所児童数(各年度4月1日現在)	◎	目標値	36人	36人	36人	36人	
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	40人	42人	43人		

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
分園運営事業	12,809千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E		
	事業の概要	玉縄地域の待機児童解消対策の暫定的な措置として、私立保育所の分園形式による保育園にかかる経費を執行する。			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E		
	事業の概要				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E		
	事業の概要				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E		
	事業の概要				

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	待機児童解消を目指し定員増を図っているが、待機児童の解消には至っていない。更なる工夫、取り組みが必要である。
課題解決のための取組	岩瀬保育園植木分園は平成19年2月開所のため、18年度入所児童数実績はわずか5人であるが、19年度末では32人、20年度末では41人、21年度末では42人、22年度末では43人、23年度末では48人となっており、待機児童対策の一助となっている。なお、事業の対象者数については、これまで各年3月1日現在でとらえていたが、4月1日現在でとらえるべく見直しを行っている。
未解決の課題	待機児童の解消。 25年4月以降の当該分園に入園している児童の転園先等の確保が必要である。

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	※□事業完了				
	➡	②妥当性 ○				↓	課長等名		
		③有効性 ○						B	保育課長
		④公平性 ○							

